

満堂の大般若祈祷！

榎ノ木

第貳拾号

令和2年3月7日発行
青壮年部女性部広報
題字：大内翠峰



師走に大忙し！和尚様方の転読のスピードはマジ卍

成道会・大般若祈祷に参加して

樹木葬 会員 岩崎 繁子

お釈迦様がお悟りを開かれた日の
前日12月7日に本堂にて、五十名程
の方々の参加で行われました。
御詠歌奉詠から始まりました。
手元に頂いた歌詞を見て、私も口
ずさんでみました。
お釈迦様のやさしいお気持ちにふ
れることが出来ました。



お釈迦様の足跡は大きかった!?



和尚様方の行道に合わせてお念仏唱えて数珠回し

その後、全国三十余の道場で12月1日から一週間不眠不休で行われているという坐禅を修行僧の方々と一緒の思いで致しました。姿勢を正し、心静かに、無心になるようにとの指導がありました。

私は一、二、三と数えてあつという間の5分間でした。

和尚様方の御祈祷は厳肅のなかにも勇壮・壮麗なものでした。

私は今年一年の健康を感謝し、来たる年も元気で過ごせるように願いながら大きな数珠を回しました。

楽しい時を過ごすことができ、参加してよかったと感謝しつつ帰路につきました。

思い出いっぱい の研修旅行

反町下 堀籠口出子



酒田の相馬楼で料理と舞娘さんにうっとり。おなか一杯！



国の登録文化財建造物「相馬楼」

11月2日(日) 天気は晴れ。「おはようございます」元気な挨拶とともに気分は青春、いざ出発。車中は思い思いの会話で賑やかなひと時を過ごしながら目的地酒田へと向かう。映画「おくりびと」「ロケ地を眺めながら、最初の研修地「砂高山海向寺」に到着。驚くことに山形県庄内には6体の即身仏があり、そのうち2体がこの海向寺の即身佛堂に祀られている。一寺に2体の即身仏が祀られているのは全国でも海向寺だけとのこと。即身仏を拝観することができ、全員で般若心経を唱えました。



海向寺の即身仏に畏敬の念

次の研修地、酒田の舞娘茶屋「相馬楼」に到着。港の衰退や芸妓の後継者不足などから、1990年に「舞娘さん制度」を創設。町おこしの一環として国内外のイベントに参加、国際交流の懸け橋として活躍している酒田舞娘。昼食を済ませ舞娘の優美な踊りにうっとり。記念撮影を終え次の研修地「山王くらぶ」へと移動。館内には多くの展示エリアがあり、目を奪われたのが雛遊びと舞妓の展示室、さらに彩り鮮やかな日本三大つるし飾り傘福の優雅な飾りつけにはすっかり魅了されました。帰りは主婦に戻って両手にお土産。思い出いっぱいの日でした。みなさんお世話になりました。役員の皆さんありがとうございました。

清浄山禪興寺 花園会青壮年部・女性部会報



山形の「傘福」を見たからには他の「三大つるし雛」静岡稲取と福岡柳川にも行かなくては!?



手間ひま無限大∞ザ・ワールド!!



つるし雛ならぬ!?塩鮭寒風干し



おみやげ買ったし、アイスも美味しいなあ!



笑顔あふれる「涅槃会」
ねはんえ

ご先祖様。百年後の子孫が勢揃いしました！



切々とした語り口が心に染み入りました。(天野太悦師)

記録的な暖冬により、厳しい寒さも和らいだ2月15日。お釈迦様の「命日」にあたるこの日に、禪興寺本堂に於きまして、「涅槃会」が行われました。約二五百年前にお釈迦様が亡くなられた時の情景を描いた「涅槃図」。本堂正面にかけられたこの画は、明治42年に禪興寺の檀信徒である、ご先祖様方が寄進してくださったものです。

禪興寺副住職 梅澤竜潭

裏面に記された、ご自分のご先祖様のお名前を見つけると、皆感慨深そうにしておられました。

禪興寺が檀信徒の方々のおかげで、今日まで歴史を紡いでこられた証です。

本年は、松島圓通院副住職、天野太悦師を講師にお迎えし、御法話を聞かせて頂きました。師の豊かな経験に基づかれたお話しに、皆真剣に聞き入っておられました。

最後には毎年恒例になりました、女性部の皆様お手製のお汁粉を、全員で御馳走になりました。

より一層深まった親睦の元、今後も禪興寺の活性に精進して参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。



お汁粉うめえごだあ♪ (舌鼓ポンポン♪)

仙台臨済会 涅槃会 特別講演



青壮年部・女性部副会長佐藤彰

2月13日、講師は世田谷野沢「龍雲寺」第十二代住職細川晋輔師。祖父は「南無の会」元会長松原泰道師。NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」などの禅宗指導を務められた、今年四十歳の新進気鋭のご住職です。「禅のごとは・禅語の先にあるもの」の演題で、大本山妙心僧堂で「庭詰め」から始まる9年間の長い禅修行のお話や道場での1800にも及び禅問答の教えなどを笑いを交えながらお話して下さいました。



会場内を埋め尽くす参列者！

「修行して気づいたことは日本には美しい四季があり、それぞれに旬がある」ということ。「不立文字・教外別伝・直指人心・見性成佛」の四聖句の通り、言葉や文字は大変便利ですがそれだけでは心に伝わらない。「禅の悟りとは、いかなる時でも死ねるといふことではなく、いかなる時でも平気で生きていくことである。大切なのは祖父が貫いた知恩報恩・生涯修行・臨終定年です。」とのお話が印象に残りました。今回も有意義なご講演を拝聴して参りました。合掌

松尾芭蕉と中興開山大領義猷禅師

だいらようぎゆう



当山本寺松島「瑞巖寺」百二世住職の大領義猷和尚（本光瑞如禅師）は、当地吉田出身で、禪興寺本堂に凛としたお姿の中興開山像が祀られています。

後の俳聖松尾芭蕉は元禄2年（1689年）5月9日にお伴の曾良と松島を訪れて瑞巖寺を訪問しています。

もしかしたら大領義猷和尚様とご対面し談笑されて旅の安全を祈り、瑞巖寺山門から見送られたかも!?!と想像するのも楽しいですね。

当山は鎌倉時代末期文永2年（1265年）当時の松島田福寺一せ法身性西（ほっしんしょうさい）

禅師によって「長福寺」が開創されました。その後火災で廃寺となりましたが、寺を大領義猷和尚が故郷の禅寺を再興したいとの一念より、江戸時代初期寛文10年（1670年）に「禪興寺」として自ら再興し、今日に至っています。

悠久の古に想いを馳せてみると檀家の私たちにとっても誠に誇れる出来事ですね。

芭蕉は松島から大和町の吉岡八幡神社に立ち寄り、妙心寺派の保福寺から鳴子方面に向かったの言い伝えも有るとか。

タイムスリップしてその当時に行きたいですね。合掌



七ツ森樹木葬

春に滝桜の木の下で…

七ツ森の麓にある禪興寺の樹木葬に新たなシンボルツリーが仲間入りしました。樹齢七百年とも千年とも伝えられる福島県三春の滝桜の実生（※注）の桜の木が1月8日に新たに二本植樹されました。

冬を乗り越えて。

春にいつぱいの桜の下で逢いましょう。

ぜひ一度見学にいらしてください。

※注 種子から育てた樹木

今後の行事予定

◎3月22日（日）午後4時

春彼岸 境内墓地清掃

◎5月19日（火）

子育て地藏祭り、

花祭り（降誕会）、法話

◎6月2日（水）

大領義猷和尚毎歳忌

於塩竈市 東園寺

◎6月青壮年部・女性部総会

◎8月10日（月・祝）午前11時

盂蘭盆施餓鬼会

◎8月 お盆後 境内墓清掃

編集後記

お寺に興味ある人は少なからずいるかと思われませんが、若い方の力がもっともっと必要とされる時代となっております。どうぞ気軽に足を運んでみては…と願っています。

広報部員募集中！

編集会議は、お菓子を食べながら和気あいあい！一緒に楽しい紙面をつくりませんか？



団子食べながら作っています。

広報部

部長 小川弘吉

副部長 相澤敏晴

部員 佐藤 彰 早坂妙子

発行

禪興寺花園会青壮年部・女性部 広報部

〒九八一・三六二五

宮城県黒川郡大和町吉田字長福寺一

電話番号 〇二二・三四五・二〇六三